

ねん がつ
2025年2月

こ 古 — No. 30

けんぱくものしりシート

こふん ふくそうひん 古墳の副葬品



かいせついん
解説員

こちらは、岩手県内の古墳※から
見つかった“副葬品”を中心に
展示しているコーナーです。

亡くなった人のためにお墓の中に持ちこ
まれた品物を副葬品と呼んでいます。



ケンくん

刀、まが玉、かぶと……
いろいろな物があるんだね。

※古墳：土を高くもりあげてつくった古い
お墓のこと。地域や時期によって
大きさや形がさまざまです。



地域や時期によっても種類にちがいはありますが、ここに展示されているもの
の他にも亡くなった人が生きていた時に使っていたものなど様々な副葬品が見
ついているんですよ。古墳からは、他の時代のお墓に比べてたくさんの種類
の副葬品が見つかることが多いんです。



ハクちゃん

お墓の中から見つかったんだよね。どんなふうに入っていたの？



では、岩手県立博物館が発掘調査を行った“熊堂古墳群”
と、そこから見つかった副葬品を例に見てみましょう！

熊堂古墳群は岩手県花巻市にあり、7世紀後半～8世紀中ごろ（古墳時
代の末から奈良時代ごろ）につくられたと考えられている古墳です。



はなまきし
花巻市



した ず くまどう こふんぐん ごうふん はつくつちよう き おこな とき せきしつ な
 下の図は熊堂古墳群のうち4号墳の発掘 調査を行った時の石室（亡くなった
 ひと のからだをおさめる ばしょ）のようす きたよ わらびてとう ぶ き なか
 人のからだを納める場所）の様子です。北寄りでは蕨手刀などの武器が、中
 きりこだま だま どだま たまるい み
 ほどでは切子玉やガラス玉、土玉などの玉類が見つかりました。

きりこだま
切子玉

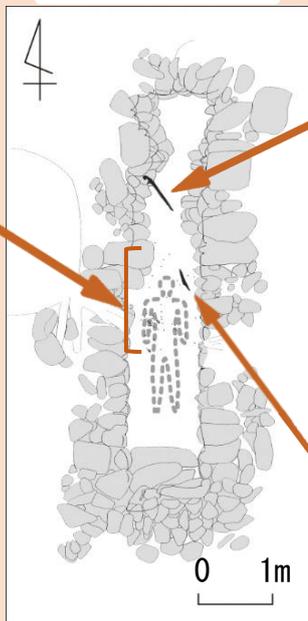


だま
ガラス玉

どだま
土玉



くまどう こふん ごうふん
熊堂古墳4号墳



わらびてとう
蕨手刀

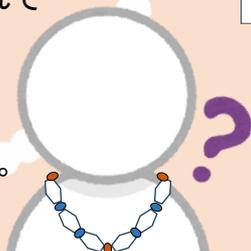


もちて
持ち手が、わらびのよう
かたち
な形をしている刀です。
かたな
くわしくは「ものしり
シート考古No.16 蕨手刀」
をみてね！

ちよくとう
直刀



バラバラに散らばって見つかった
これらの玉類ですが、もともとは
ひもでつながれた“首かざり”
であったと考えられて
います。いったい
どんな首かざり
だったのでしょか。



★からだがあったと思われる場所を、点線であらわしています。骨は長い時間をかけてとけてしまうため古墳から見つけることはほとんどありません。



ほか どう
その他にも銅で作られた①鍔帯※金具や②和同開珎（古代
のお金）などが、熊堂古墳群から見つかったものとして伝え
られています。使われていた時期が限られているこれらの資料は、
その古墳がいつごろにつくられたものなのか知るためにも役立ちます。



※鍔帯：古代の貴族や役人が身分をしめすために使っていたベルトを鍔帯といいます。

くわしくは「ものしりシート考古No.11 鍔帯復元模型」を見てね！

引用・参考

岩手県立博物館 1990年『岩手県立博物館 調査研究報告書 第六冊 熊堂古墳群・浮島古墳群発掘調査報告書』/花巻市博物館 2004年『花巻市博物館 常設展示図録』他

- 「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。
- 「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214

岩手県立博物館

検索

HPにてバックナンバー公開中！

けんぱくものしりシート

『古墳の副葬品』

2025年2月発行 考古—No.30

■参考文献

- ・ 岩手県立博物館 1990年
『岩手県立博物館調査研究報告書 第六冊 熊堂古墳群・浮島古墳群発掘調査報告書』
- ・ 花巻市博物館 2004年『花巻市博物館常設展示図録』
- ・ 岩手日報社出版部 2000年『いわて未来への遺産 遺跡は語る 旧石器～古墳時代』
- ・ 武井正弘 2009年『日本の遺跡と遺産② 古墳』